

今月の野鳥

2012年になりました。今年もよろしくお願ひします。

12月は寒くて、シラルトロ湖や塘路湖、そして春採湖も凍ってきました。湖が凍ってしまうとさすがの水鳥たちも南の地方や凍ってない場所へ移動してしまいます。釧路川や海の方に行くと越冬しているカモ類を見ることができます。寒い中、野鳥たちもしっかりと生活しています。

さて、今月と来月はタンチョウを取り上げたいと思います。

タンチョウ (ツル目ツル科)

Grus japonensis

☆全長 145 cm

☆分布・生息環境

釧路湿原などで繁殖し、留鳥として、湖沼畔、河川、牧草地などに生息する。冬は釧路湿原の人里近くで越冬する。

釧路湿原で見られる一番有名な野鳥です。残念ながら春採湖では見られませんが、釧路を代表する鳥です。

体の色は黒と白で、頭が赤いのが特徴です。頭の赤い部分は、毛がなくて皮膚が裸出しています。興奮すると膨らんできます。

夏場はなわばりを作ってつがいですごしますが、12月～3月にかけて、鶴居村や阿寒町の給餌場にやってきます。冬場の寝床は、敵から身を守れるように川の中で一本足で寝ます。この時期、給餌場では頭や体が茶色の幼鳥も見ることができます。雪景色の中のタンチョウはとてもきれいです。(弟子屈町立昭栄小学校 森川)



2010年2月28日 鶴居村



2009年2月28日 鶴居村